

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

イ

男子 女子 3回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 グリーンアリーナ神戸

Aコート

チーム名	総得点		総得点	チーム名
富岡東高等学校	26	14	10	華陵高等学校
		12	12	
		—	—	
		—	—	
		—	—	
		7mTC		

3回戦、第1試合は先日、大谷高校との接戦を制した関東ブロック代表、富岡東高校と各ポジション

から万遍なく得点を挙げる、トータル・ハンドで初戦を突破した中国ブロック代表、華陵高校との対戦

である。華陵は序盤からDFラインを高めを設定し、相手のミスを誘って果敢に速攻をしかけていく。

さらに⑦や⑤のミドルシュートも要所で決まり、落ち着いた立ち上がりを見せる。一方の富岡東も④⑩

の高身長を活かしたDFとシュートを軸に得点を重ね、序盤は両者一歩もひかず、一進一退の競り合い

が続いた。ところが前半20分過ぎ、富岡東は⑤のサイドシュートが2連続で決まると、勢いそのまま

に前半を14対10で折り返すことに成功する。後半開始直後、華陵DFの要である⑨が負傷交替となる。

その後、各選手慌てることなく、各選手着実に得点を挙げ、一時1点差にまで詰め寄り、富岡東の背中

をとらえたようにみえた。しかし、富岡東GK⑫の好セーブにより決定的となる連続得点が奪えず、ま

た、要所では⑤のサイドシュートが決まり、逆転とは至らなかった。最後は⑥のシュートが決定打とな

り、食らいつく華陵を富岡東が振り切り26対22で勝利した。

2018年 3月 26日

記載者氏名 名明 千佳

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

ロ

男子 女子 3回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 グリーンアリーナ神戸

Bコート

チーム名	総得点		総得点	チーム名	
名古屋経済大学市邨高等学校	28	11	—	13	県立高松商業高等学校
		13	—	11	
		4	—	1	
		—			
		—			
		7mTC			

昨年度の悔しさをばねに初戦を突破し波に乗る香川県代表の県立高松商業と昨年度に続きベスト8

以上を目指す愛知代表の名古屋経済大学市邨の対戦。スローオフは高松商。先制点は高松商③がセン

ターからミドルを決める。序盤はなかなかリズムがつかめない名経大市邨に対し、高松商が優位に試

合を進めるが、名経大市邨も徐々に落ち着き点差をつめ、16分経過時点で8対6、高松が2点リー

ド。その後は一進一退の攻防が続く。19分を過ぎに高松⑥が退場するが、名経大市邨はその間に点差

をつめることができない。前半は13対11、2点高松がリードのスコアで終了。

後半の先制点は名経大市邨④の右サイドからのシュート。その後は両者譲らぬ展開が続き、名経大

市邨も3度同点まで追いつくがリードするまでには至らない。しかし11分半ば過ぎについに逆転し

18対17とする。開始14分に名経大市邨④が退場。高松はその間に逆転し再び1点リードし19

対18。高松は追いつがる名経大市邨をなんとか振り切っていたが終了直前にPTを決められ同点と

なり延長戦へ。延長戦は名経大市邨のGK⑫の好セーブもあり、名経大市邨が28対25で制し勝利。

2018年 3月 26日

記載者氏名 正田 慎

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

男イ

男子 ・ 女子 3 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 神戸国際大学附属高等学校

チーム名	総得点		総得点	チーム名
駿台甲府高校	<u>28</u>	[ 14 — 11 ]	<u>23</u>	昭和第一高校
		[ 14 — 12 ]		
		[ — — ]		
		[ — — ]		
		[ — — ]		
		7mTC		

大会3日目ベスト8をかけた戦いは、駿台甲府と昭和第一の関東対決。駿台甲府のスローオフ。開始早々、駿台甲府2番佐藤がステップシュートを決め先制するも、負けじと昭和第一2番布施もステップ、ブラインドシュートを決め2連取。開始5分で3対1と昭和第一が幸先よくスタートしたが、2番佐藤の素早いドリブルからの速攻、5番深澤のブラインド、速攻などで5連打に成功した駿台甲府がリードを広げる。前半20分T0を取った昭和第一はその後、7番青木、3番長谷見らで3連取し1点差まで追いつけるが、駿台甲府は11番丸山、5番深澤らで要所に連続得点。前半終了間際に昭和第一は4番高橋がシュートを決め、14対11で折り返す。後半序盤は互いに点を取り合う激しい展開。相手キーマン佐藤に厚いマークをかけ、DFで粘りを見せる昭和第一は、サイドからポストに切り込んだ3番長谷見、6番ボンゴランの得点などで後半17分、同点に追いつく。しかし駿台甲府2番佐藤が悪い流れを断ち切る意地の3連打。GK平賀も好セーブを連発し、ラスト10分で点差を広げた駿台甲府が熱戦を制し、ベスト8へと駒を進めた。

30年 3月 26日

記載者氏名 山本 紘輝

平成29年度 第41回 全国高等学校ハンドボール選抜大会

試合番号

戦 評 用 紙

ホ

男子 ・ 女子 3 回戦 ・ 準々決勝 ・ 準決勝 ・ 決勝

会場 神戸市立中央体育館

コート

大体大浪商	32	17	—	12	27	総社
		15	—	15		
			—			
			—			
			—			
		7mTC				

初戦の興南との熱戦を制した近畿ブロック1位浪商と、初戦完勝の中国ブロック3位総社との対戦。浪商スローオフ

で試合開始。立ち上がりミスが目立つ浪商に対し、総社はNo.7小西のシュートで先制。No.9辻の連続ミドルで4-1とり

ード。浪商が1点差に迫るも、総社GK唐渡の再三の好セーブで流れを渡さない。その唐渡のセーブから小西の速攻で

加点するなど、序盤は総社の流れで試合が動く。しかし、硬さが見られた浪商OFの動きが、中盤以降良くなっていく。

No.10前沢のシュートから3連続得点で同点に追いつくと、自在なパス回しから得点を重ねていく。総社も離されまいと

粘るが、前半は逆転した浪商が5点差をつけて終了した。

後半に入り、前半の序盤同様に総社のペースからスタートした。果敢に縦に切り込む攻撃で、7mスローを2本ものに

するなど点差を詰めていく。12分19秒、No.9辻のロングで同点に追いつくと、GK唐渡の好セーブで総社ムードと

なるかと思われた。しかし、浪商は、退場者がいた時間帯を無失点で耐える。また、5分近く点数が動かないつば迫り

合いの時間帯も前沢のシュートで得点し、終盤は完全に浪商ペースとなる。No.11木村、No.14の個人技などで得点を重

ねていき、試合終了。浪商が準々決勝に駒を進めた。

30年 3月 26日

記載者氏名 沖野 勝洋